

# てしかが歴史写真館 154



二代目木橋

三代目木橋

六代目コンクリート橋

## ちようこばし(眺湖橋)

湖から海へ。3町1市110数キロを巡り、生き物たちの命を育む釧路川。  
 その源に架かる眺湖橋。1923(大正12)年に初代が架けられ、現在六代目。1927(昭和2)年には自動車が行き交える橋となり、屋斜路観光の幕開けとなりました。  
 観光バスは眺湖橋の上で一旦停車。屋斜路湖と釧路川の成り立ちに始まり、川湯温泉までの美観が案内されます。湖の水が解け、春が告げられると、観光シーズンの到来。湖から川に注ぐ水音と、湖を囲む木々の芽吹き的美しさが体感できます。

「万緑のひと木ひと木の緑かな」俳優で俳人の小沢昭一さんが綴った句集の中の1句です。春から夏へ、万緑に囲まれた屋斜路湖と釧路川入り口の景観は絶景！絶景！

昭和初期から80数年、人や車が行き交う重要な眺湖橋。近年は橋の上の通行だけでなく、橋の下を通る観光が急激に増えました。アイヌの人たちは、川から海への注ぎ口を川口(川の出口)とは呼ばず、大切な食料である神の魚(カムイチュプ)が上がってくる入り口と位置付け、湖や川を敬い、遠慮しながら、謙虚な心で接してきました。

眺湖橋は魚たちが行き交う関所です。しかし、私たちがカヌーなどで通るには水面と橋桁の間が低く、頭をかがめる必要があります。ここは先人の教えを素直に実践。頭上注意で頭をかがめるのではなく、安全を祈り、湖や川を汚さない誓いととも、感謝の心を込めて礼を尽くすことが大切です。旅人たちも一緒の日常行動になるといいですね。

もちろん眺湖橋への感謝も忘れずに！

てしかが郷土研究会(充洋)



## 「気持ちも新たに誓いのことば」

1月12日に行われた、第66回弟子屈町成人式での1コマです。新成人を代表して、阿部佑己さんと上西葵さんが『誓いのことば』を述べました。

(関連記事33ページ)

Public relations magazine

2014.2 No.714

# てしかが

### 主な内容

- 確定申告に行こう！……………2
- 第71号町議会だより第4回定例会……………6
- タウンメール……………20
- 職員の非常登庁訓練を実施……………21
- リサイクルのすすめ……………22
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………33

てしかが 2014.2

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696  
 〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています